

この4年間で  
**条例提案  
26件**

くらし

雇用

福祉

安全

# 区政を動かす日本共産党

9人に増やし、願いの実現の力をさらに大きく

日本共産党区議団は、みなさんの願いをまっすぐに区政に届け、区長が「やらない」と言っても、区民運動と力をあわせた粘り強い取り組みで姿勢を変えさせ、区政を動かしています。

なかでも、新宿区議会で唯一、ほぼ毎回の議会に条例案を提案。自民党や公明党が反対して否決されることも多いですが、条例提案が契機となって実現させたものが数多くあります。

## 就職支援など 雇用対策が大きく前進

“雇用対策は国や都の仕事”という区の姿勢を変えさせてきました。09年に区長に「緊急雇用・経済対策」を申し入れ、区は対策本部を設置して、離職・住居喪失など困った時の総合相談窓口や合同面接会など就職支援活動を実施。

また、公契約条例をつくって官製ワーキングプアをなくすよう要求。区は調達のあり方についての指針を作成し、労働条件の改善が始まりました。



区長に「緊急雇用・経済対策」を申し入れる共産党区議団 (09年1月)

## 商店街灯の電気代助成、 商工業融資の大幅拡充

商店街灯の電気代助成は、条例提案を契機に、05年度に予算額が9倍に。さらに10年度には、電灯料の80%相当までの助成へ拡充されました。

また、中小業者のための融資の大幅拡充をいっかんして要求。無利子・信用保証料全額補助の融資、債務一本化融資などを実現させました。



電灯料の80%相当までの助成となった商店街灯

## 区立幼稚園・小中学校にクーラー設置 中学3年生まで医療費無料化

「暑くて勉強ができない」の声に、予算修正を提案するなどクーラー設置をくり返し要求。06年までに全普通教室に、その後特別教室にも設置が実現しました。

小中学生の医療費無料化は、区長が取り組まないの、条例と予算修正を2回提案。自民、公明、無所属クラブなどの反対で否決されましたが、区民のみなさんと運動を広げて、07年10月に実現。

## 住宅の耐震補強工事助成

中越地震の救援ボランティアに行った経験を生かし、個人住宅の耐震補強工事助成のための条例を提案。自民、公明、無所属クラブなどが反対し、区長も「所有者の自己責任」と言って拒否しました。

日本共産党は、全国の自治体の取り組みを調査して要求を重ね、06年度に木造住宅の助成を実現させました。その後、非木造住宅の助成も実現し、23区でトップレベルの制度となっています。



## 力をあわせて学校統廃合ストップ

区教育委員会が強引にすすめようとしてきた江戸川小学校と津久戸小学校の統廃合計画。日本共産党は、「小規模でも地域に密着した学校を残してほしい」と願う保護者や住民のみなさんといっしょに運動。区議会でも、学齢期の人口が増えることなども示して、くり返し中止を要求しました。

ついにこの2月、区教育委員会は「統合の必要性はなくなった」と明言しました。

## 自民、公明、民主、 無所属クラブ 区長提案には何でも賛成

## 区民の切実な願いには反対

高齢者の医療費の負担増は「やむをえない」と言うなど、区民のくらしより国の政策優先の新宿区長。その与党である自民党、公明党、無所属クラブは、区長が提案する議案に100%賛成。民主党もこの4年間(07年6月～10年12月)、99.8%の議案に賛成しています。

一方、区民のみなさんの要望を受けて、日本共産党が提案した介護保険料の負担軽減、がん検診無料化などの条例案には反対。切実な願いには背を向けています。

※無ク=無所属クラブ

区長提案の議案と日本共産党の 条例案に対する主な会派の賛否	共産	自民	公明	民主	無ク	社会
区長提案 国保料値上げ(08,09,10年度)	×	○	○	○	○	×
西落合ことぶき館等の廃止	×	○	○	○	○	×
介護保険料の負担軽減	○	×	×	×	×	×
日本共産党提案 生活を支える一時資金貸付	○	×	×	×	×	○
がん検診無料化	○	×	×	×	×	○
住宅リフォーム助成	○	×	×	×	×	○

定数38